

## 【問題の概要と問題毎の正答率】

問題番号	問題の概要	正答率 (%)
1一	スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す	90.7
1二	話の進め方のよさを具体的に説明したものとして適切なものを選択する	96.0
1三	スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く	86.7
2一	意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する	94.7
2二①	漢字を書く（ <u>のぞく</u> ）	98.7
2二②	漢字を書く（ <u>よろこんで</u> ）	92.0
2三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	61.3
3一	「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する	96.0
3二	「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する	98.7
3三	話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並べ替える	93.3
3四	「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く	94.7
4一	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	50.7
4二	最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する	100.0
4三	書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する	97.3

## 【調査結果の分析と今後の改善方策】

## 【全体を通して】

- ・全体として概ね学習内容が定着していると考えられる。
- ・問題1の「話すこと・聞くこと」の領域の問題は全国平均に比べても特に正答率が高い。これはICT機器を活用し、授業内でアウトプットの機会を充実させる取組を行ってきた成果だと考える。

## 【特に課題と思われる点】

- ・問題2三は全国的にも正答率が低い問題ではあるものの、課題が残った。他の文章を引用し、根拠を明確にして文章を記述する機会を積極的に設けていく。
- ・問題4一は書き順についての理解が不十分であるためだと考える。漢字については授業内のドリルと家庭学習とを連携させ、継続的な取組を行っていく。